

みずほCustomer Desk Report 2017/05/29 号 (As of 2017/05/26)

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値	111.80	
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.75	1.1211	125.27	0.9732	1.2928	0.7454
SYD-NY High	111.84	1.1234	125.41	0.9761	1.2947	0.7461
SYD-NY Low	110.88	1.1160	124.17	0.9696	1.2775	0.7422
NY 5:00 PM	111.31	1.1175	124.38	0.9747	1.2805	0.7445
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			8.34/8.69	△25RR	1.548	Yen Call Over
NY DOW	21,080.28	▲ 2.67	債券市場	日本2年債	-0.1630	0.2bp
NASDAQ	6,210.19	4.94		日本10年債	0.0420	▲0.8bp
S&P	2,415.82	0.75		米国2年債	1.2937	-
日経平均	19,686.84	▲ 126.29		米国5年債	1.7894	▲0.5bp
TOPIX	1,569.42	▲ 9.00		米国10年債	2.2465	▲0.9bp
シカゴ日経先物	19,715.00	▲100.00		独10年債	0.3310	▲3.1bp
ロンドンFT	7,547.63	29.92		英10年債	1.0120	▲2.5bp
DAX	12,602.18	▲19.54		豪10年債	2.4090	▲3.1bp
ハンセン指数	25,639.27	8.49	為替市況	USD/CNH	6.8233	▲ 0.0257
上海総合	3,110.06	2.23		ドルインデックス	97.44	0.19
USDJPY 3M Vol	8.55	0.16%	商品市況	CRB指数	182.005	0.85
USDJPY 6M Vol	9.01	0.12%		NY金	1,271.40	11.60
EURJPY 3M Vol	9.07	0.24%		WTI	49.80	0.90
EURJPY 6M Vol	9.65	0.12%		Dubai Spot	50.28	▲1.96

東京	朝方に本邦4月CPIが発表され、概ね市場予想通りの結果に市場の反応は限定的。東京時間のドル円は111.75レベルでオープン。やや材料難となる中でドル円はじりじりと下値を切り下げる展開。日経平均もじり安となる中、ドル円は前日安値となる111.50を下回るとストップを巻き込みながら東京時間の安値となる111.40まで下落。その後は、週末にかけて予定しているG7首脳会議を控えて様子見ムードが漂う中、ドル円は横這い推移となり結局111.47レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は下落する展開。朝方は111.47レベルでオープン。東京時間の軟調な日経平均の動きを引継ぎ、欧州株も軟調な出だしとなる中で円買いの動きが先行。米長期金利が低下する中でドルも全般的に緩み、ドル円は110円台後半まで下落し、111.00レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.28台後半から前半まで下落。朝方は1.2879レベルでオープン。ロンドン時間早朝に発表された英総選挙を巡る世論調査で与党・保守党の野党・労働党に対するリードが5ポイントに縮小したことが伝わると、全般的にポンド安の展開。円買いの動きにクロス円も軟調推移したこと相俟って、ポンドドルは1.28台前半まで下落し、1.2838レベルでNYへ渡った。(ロンドン・ルフリー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	海外時間は、軟調な原油価格や英総選挙の世論調査における与野党支持率接近を背景に、ドル円は111円台後半から安値110.88まで下落し、111.00レベルでNYオープン。朝方発表された米第1四半期GDP(改定値)が市場予想を上回る大幅な上方修正となり、内訳も個人消費、設備投資共に上方改定されていたことが好感され、米長期金利が上昇する展開にドル円は111.34まで上昇。その後発表された米4月耐久財受注が5ヶ月ぶりに減少し、設備投資の先行指標となるコア資本財受注も予想を下回ったことから、ドル円は111.13まで小幅に緩むも、原油価格が力強く反発する動きに111.43まで反発。ロンドン・NY共にロングウィークエンドとなることや、週末にかけてG7首脳会議が実施されることもあり、午後の取引は閑散となる中で111.20-30付近を中心とした狭いレンジ内の動きに終始し、結局111.33レベルでクロスした。一方ユーロドルは1.1192レベルでNYオープン。朝方は良好な米第1四半期GDP(改定値)を受けて、ドル買いが強まったことから、安値1.1160まで下落。その後は薄利となる中、1.1170-80レベルを中心とした狭いレンジ内の動きに終始し、1.1175レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 福田・鶴田

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月26日	8:30	日 CPI/コア/コアコア(前年比)	4月 0.4%/0.3%/0.0%	0.4%/0.4%/0.0%
	11:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	21:30	米 GDP・二次速報(年率/前期比)	1Q 1.2%	0.9%
	21:30	米 個人消費・二次速報	1Q 0.6%	0.4%
	21:30	米 コアPCE・二次速報	1Q 2.1%	2.0%
	21:30	米 耐久財受注/除く輸送用機器・速報(前月比)	4月 -0.7%/-0.4%	-1.5%/0.4%
	23:00	米 ミシガン大学消費者信頼感指数・確報	5月 97.1	97.5
	-	- G7首脳会議(26日~27日)	-	-

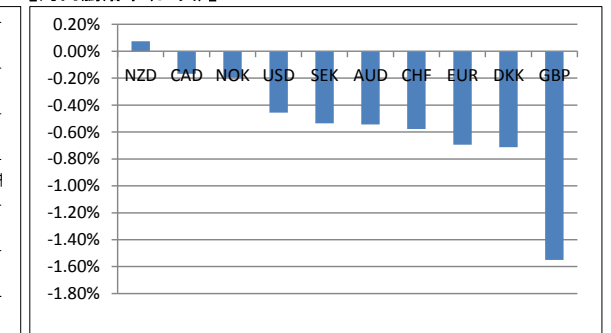
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月29日	10:15	米 ウィリアムズ・カンザスシティ連銀総裁 講演	-	-
	22:00	欧 ドラギ・ECB総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.90-111.90	1.1150-1.1250	124.00-125.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日の海外時間のドル円は、110.88まで下落した後、111.42まで反発し111.31で取引を終えている。欧州時間序盤から米金利が低下する動きにつられ、ドル円も111.30台から111円を割れて、110.88まで下落。米国時間に入り発表された米1-3月期GDPが年率1.2%と、市場予想の0.9%を超える数値を示したことで、欧州時間から下落していた米金利が上昇に転じ、ドル円も111.42まで上昇した。しかし、米国3連休を前にドル円半反発の動きも限定的であり、111.31で先週の取引を終えている。本日は欧米ともに休日ということもあり、値動きは限定的なものと思われる。